

日本放射線腫瘍学会誌, 15(1): 116, 2003年.

- 27) 勝良剛詞, 平 周三, 西山秀昌, 小林富貴子, 中島俊一, 益子典子, 小山純市, 田中 礼, 林 孝文: 口腔癌頸部廓清後のCT所見 - 非再発症例を中心に -. 第93回新潟臨床放射線学会, 新潟市, 2003年12月13日, 2003年.
- 28) 平 周三, 勝良剛詞, 西山秀昌, 小林富貴子, 中島俊一, 益子典子, 小山純市, 田中 礼, 林 孝文: 下顎枝舌側にみられた静止性骨空洞 (発育性骨欠損). 第93回新潟臨床放射線学会, 新潟市, 2003年12月13日, 2003年.
- 29) 林 孝文: ワークショップ・早期舌癌の深達度と評価 (USと病理組織像との関連) 正常舌粘膜の超音波所見. 第22回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 2004年1月23日, 金沢市, 2004年.
- 30) 林 孝文: 舌リンパ節転移の超音波所見. 第23回日本画像医学会, 2004年2月20日~21日, 東京, 2004年.

【研究会発表】

- 1) 小山純市, 林 孝文, 小林富貴子, 益子典子: 顎関節造影でperforationを検出し得た顎関節内障の1例. 第49回新潟画像医学研究会, 2003年6月28日, 長岡市, 2003年.
- 2) 益子典子, 田中 礼, 小山純市, 平 周三, 勝良剛詞, 中島俊一, 小林富貴子, 林 孝文: 口蓋の多形性腺腫の鑑別診断. 第50回新潟画像医学研究会, 2003年11月1日, 新潟市, 2003年.
- 3) 林 孝文, 田中 礼, 小山純市, 平 周三, 勝良剛詞, 益子典子, 西山秀昌: 口腔癌の頸部廓清術後に出現した結節状構造の画像所見. 第50回新潟画像医学研究会, 2003年11月1日, 新潟市, 2003年.

【研究成果報告書】

- 1) 研究代表者 林 孝文: 口腔癌頸部リンパ節転移診断におけるらせん走査型CTの至適撮影条件の検討. 2001年~2004年度科学研究費補助金, 基盤研究(C)(2), 課題番号13671965.
- 2) 研究代表者 小林富貴子: 顎・顔面領域における多列検出器CTの臨床応用に関する研究. 2001年~2004年度科学研究費補助金, 基盤研究(C)(2), 課題番号13671964.
- 3) 研究代表者 勝良剛詞: 癌・放射線治療による晩期有害事象のリスクファクターの特定と予防管理システムの考案. 2003年~2004年度科学研究費補助金, 若手研究(B), 課題番号15791072-00.

摂食・嚥下障害学分野

【論文】

- 1) Ueda K, Toyosato A, Nomura S: A study on the effects of short-, medium- and long-term professional oral care in elderly persons requiring long-term nursing care at chronic or maintenance stage of illness, Gerodontology, 20(1) 50-56, 2003.
- 2) Ueda K, Yamada Y, Toyosato A, Nomura S, Saitho E: Effects of functional training of dysphagia to prevent pneumonia for patients on tube feeding, Gerodontology, 20(1) 23-26, 2003.
- 3) Ootaki S, Yamamura K, Amarasena JK, Kurose M, Yamada Y: Activity of peri-oral facial muscles and its coordination with jaw muscles during ingestive behavior in awake rabbit, Brain Reserch, 19(1001) 22-36, 2004.
- 4) Monya M, Igarashi A, Asatsuma M, Watanabe M, Takeishi H, Nomura S: Increase in the level of TIMP-1 in saliva by oral administration of zinc in patients with taste disorder due to zinc deficiency. Jpn. J. Gerodontology 18(1) 3-8, 2003.
- 5) Asatsuma M, Ito S, Watanabe M, Takeishi H, Nomura S, Wada Y, Nakano N, Gejyo F, Igarashi A: Increase in the ratio of matrix metalloproteinase (MMP)9 to tissue inhibitor of metalloproteinase (TIMP)1 in saliva from patients with primary Sjogrens' syndrome, Clinica Chimica Acta, in press 2004.
- 6) 菅井登志子, 豊里 晃, 植田耕一郎, 田澤貴弘, 加藤直子, 浅妻真澄, 杉田佳織, 小森祐子, 田巻元子, 野村修一: 加齢歯科診療室における病連携歯科治療の現状, 新潟市歯学会誌, 33(1) 11-14, 2003.
- 7) 長澤麻沙子, 斎藤和幸, 中村公彦, 豊里 晃, 野村修一: 介護食用増粘剤, ゲル化剤の嚥下しやすさ, 新潟市歯学会誌, 33(2) 25-29, 2003.
- 8) 長濱航永, 豊里 晃, 竹内由一, 植田耕一郎, 林孝文, 野村修一: 嚥下造影検査における皮膚吸収線の測定, 新潟市歯学会誌, 33(2) 31-35, 2003.
- 9) 伊藤加代子, 野村修一: 口腔乾燥症患者のリハビリテーション 口腔乾燥に伴う摂食・嚥下障害, 看護学雑誌.67(12): 1186-1188, 2003.
- 10) 伊藤加代子, 野村修一: 口腔乾燥症患者のリハビリテーション, 口腔機能のリハビリテーション, 看護学雑誌.67(12):1188-1190, 2003.
- 11) 伊藤 聡, 村上修一, 黒田 毅, 浅妻真澄, 五十嵐敦子, 下條文武: 原発性シェーグレン症候群 (SJS) における塩酸セベメリンの治療効果についての検

討, 中部リュウマチ学会誌2004. 35(1) 32-33 2004.

【著書】

- 1) 植田耕一郎: 口と歯の健康マップ, 16-26頁, 斎藤力, 井出吉信, 植田耕一郎編; 医歯薬出版, 東京, 2003.
- 2) 植田耕一郎: 口と歯の健康マップ, 83-98頁, 斎藤力, 井出吉信, 植田耕一郎編; 医歯薬出版, 東京, 2003.
- 3) 植田耕一郎: 口臭ケア, 120-125頁, 宮崎秀夫, 八重垣健編; 医歯薬出版, 東京, 2003.
- 4) 植田耕一郎: 痴呆と歯科診療—患者さんのQOLを支えるために—, 164-177頁, 青柳公夫, 遠藤英俊, 大島久智, 坂口英夫, 鈴木俊夫編; 医歯薬出版, 東京, 2003.
- 5) 植田耕一郎: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科, 30-37頁, 全国歯科衛生士教育会議監修; 医歯薬出版, 東京, 2003.
- 6) 植田耕一郎: 今日の治療指針, 1023-1024頁, 山口徹, 北原光男編; 医学書院, 東京, 2003.
- 7) 植田耕一郎: 高齢者歯科ガイドブック, 248-275頁, 植松宏, 稲葉繁, 渡辺誠編; 医歯薬出版, 東京, 2003.

【講演・シンポジウム】

- 1) 植田耕一郎: 摂食・嚥下障害に対する統合医療の試み, 第20回日本障害者歯学会 教育講演, 東京, 2003年10月19日, 日本障害者歯科学会雑誌, 24(3): 239頁, 2003年.
- 2) 植田耕一郎: 特別介護福祉施設における痴呆性老人の摂食・嚥下リハビリテーションと口腔ケアの効果について, 第20回日本障害者歯学会 シンポジウム, 東京, 2003年10月19日, 日本障害者歯科学会雑誌, 2003年.
- 3) 植田耕一郎: 摂食・嚥下障害患者の口腔ケア, 第9回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会 教育講演, 福岡2003年9月5日, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 7(2): 172-173頁, 2003年.

【学会発表】

- 1) Toyosato A, Nomura S: Dental-chair-positions' effects on the circulatory organs of the elderly, 7th Asia/Oceania Regional Congress of Gerontology, Tokyo, Geriatrics Gerontology, 3: 147, 2003.
- 2) Ito K, Andoh E, Toyosato A, Nomura S, Kohno S: Oral status and dental treatment and/or oral health care needs of dependent elderly, 7th

Asia/Oceania Regional Congress of Gerontology, Tokyo, 2003.

- 3) Watanabe M, Igarashi A, Nomura S: Matrix Metalloproteinases and Elements in Saliva from Taste Disorder Patients, 82nd General Session & Exhibition of the IADR, Honolulu, 2004.
- 4) 岡田 淳, 本間美和子, 野村修一, 山田好秋: ヒトの自由咀嚼運動中にみられる二つの嚥下反射, 日本補綴歯科学会, 東京, 2003年5月9日, 日本補綴歯科学会雑誌, 47(109): 58頁, 2003, 5.
- 5) 伊藤加代子, 豊里 晃, 安藤栄吾, 大内章嗣, 石上和男, 河内 博, 野村修一, 江面 晃, 河野正司: 要介護者口腔保健医療ケアシステムの開発 第一報 要介護者の口腔に関する実態調査, 第14回日本老年歯科医学会, 名古屋, 2003年6月19日, 老年歯科医学, 18(3): 279-280頁, 2003.
- 6) 浅妻真澄, 渡部 守, 五十嵐敦子, 野村修一: primary sjogren's syndrome患者唾液中におけるMMP-2,9およびTIMP-1,2量, 新潟歯学会, 新潟, 2003年7月12日, 新潟歯学会誌, 33(2): 126頁, 2003.
- 7) 伊藤加代子, 植田耕一郎, 野村修一: 口腔潤滑剤供給を目的とした口腔乾燥症用義歯の検討, 第9回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 福岡, 2003年9月6日, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会誌, 7(2): 224頁, 2003.
- 8) 本間美和子, 岡田 淳, 野村修一, 山田好秋: 咀嚼時嚥下に伴う舌骨動態と顎位, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 福岡, 2003年9月5日, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌, 7(2): 73-74頁, 2003.
- 9) 伊藤 聡, 村上修一, 黒田 毅, 浅妻真澄, 五十嵐敦子, 下條文武: 原発性シェーグレン症候群(SJS)における塩酸セベメリンの治療効果についての検討, 第15回中部リュウマチ学会, 長野, 2003年9月6日
- 10) 渡部 守, 浅妻真澄, 竹石英之, 伊藤加代子, 五十嵐敦子, 野村修一: 味覚障害患者における唾液中MMPs量と血中・唾液中亜鉛濃度に関する検討, 第45回歯科基礎医学会総会, 盛岡, 2003年9月19日.
- 11) 豊里 晃, 染矢源治: 術後の呼吸機能低下が嚥下機能に及ぼす影響(第一報) - 実験モデルの作成 - 第31回日本歯科麻酔学会, 倉敷市, 2003年9月19日, 日本歯科麻酔学会雑誌, 3(4): 111頁, 2003.
- 12) 稲垣大悟, 植田耕一郎, 宮岡洋三, 蘆田一郎: 嚥下時におけるヒト舌筋活動の記録と解析, 第45回歯科基礎医学会, 岩手2003.
- 13) 豊里 晃, 野村修一: Piezo-Electric-pulse Transducerを用いた嚥下動態の解析

第31回日本顎口腔機能学会, 札幌市, 2003年10月4日, 日本顎口腔機能学会雑誌, 10(2): 2004.

- 14) 本間美和子, 岡田 淳, 野村修一, 山田好秋: 自由咀嚼運動時の嚥下に伴う舌骨動態の特徴, 日本補綴歯科学会, 長野, 2003年10月25日, 日本補綴歯科学会雑誌, 47(110): 144頁, 2003.
- 15) 紋谷光徳, 五十嵐敦子, 浅妻真澄, 野村修一: 亜鉛不足が原因の味覚障害患者に亜鉛の経口投与で唾液中のTIMP-1 (tissue inhibitor of metalloproteinase-1) レベルが増加する, 新潟歯学会, 新潟, 2003年11月8日, 新潟歯学会誌, 33(2): 132頁, 2003.

【研究会報告】

- 1) 豊里 晃, 野村修一: ベッドサイドで行える嚥下機能評価方法の検討
新潟大学研究シーズプレゼンテーション, 新潟市, 2003年9月18日, 抄録集, 1: 121-125頁
- 2) 豊里 晃, ベッドサイドで行える嚥下機能評価方法, 新潟大学地域連携フードサイエンスセンター講演会/総会, 新潟市, 2004年1月29日
- 3) 五十嵐敦子, 杉田佳織: 介護食の食品物性, 新潟大学地域連携フードサイエンスセンター講演会/総会, 新潟市, 2004年1月29日

【その他】

- 1) 豊里 晃: 介護者の「口腔ケア」, いきいき介護講座, 対象者; 介護者, ケアマネージャー, 聖籠町保健福祉課, 2003年6月17日
- 2) 伊藤加代子: 要介護高齢者の歯科治療および口腔ケアについて, 九州歯科大学リーフの会, 対象者; 歯科医師, 九州歯科大学, 2003年11月16日
- 3) 伊藤加代子: 食べる楽しみいつまでも ~ 摂食・嚥下のしくみと食事介助のポイント~
介護のための口腔ケア研修会, 対象者; 介護者, ケアマネージャーなど, 北蒲原郡社会福祉協議会, 村上健康福祉事務所, 新発田健康福祉環境事務所, 2004年2月23日

歯科侵襲管理学分野

【著書】

- 1) 染矢源治: 第16章 心肺蘇生法, 歯科麻酔学 第6版 (古屋英毅, 金子讓, 海野正浩, 池本晴美, 福島和昭, 城茂治, 編), 医歯薬出版, 東京都, 585-600, 2003.
- 2) 瀬尾憲司: 手術直後の管理, 歯科麻酔学 第6版 (古屋英毅, 金子讓, 海野正浩, 池本晴美, 福島和昭, 城茂治, 編), 医歯薬出版, 東京都, 385-395, 2003.

【論文】

- 1) Kenji Seo, Naoshi Fujiwara, Kiichi Takeuchi, Takeyasu Maeda and Genji Someya: Repetitive afferent stimulation propagates excitation in trigeminal caudalis, NeuroReport, 14, 1321-1325, 2003.
- 2) Kenji Seo, Yutaka Tanaka, Hiroshi Matsui, Genji Someya: Clinical observations of sensory impairment and recovery in trigeminal nerve injury after orthognathic surgery, Dentistry in Japan, 40, 124-128, 2004.
- 3) 瀬尾憲司, 田中 裕, 山崎由美子, 照光 真, 染矢源治: 外科的顎矯正術後の訴えとしての「しびれ」の臨床的解釈の検討, 日本歯科麻酔学会雑誌, 31(2), 167-174, 2003.
- 4) 弦巻 立, 樋口宗史, 染矢源治: Neuropeptide Yによるラット頸静脈収縮動態とその受容体サブタイプについて, 日本歯科麻酔学会雑誌, 31(2), 122-129, 2003.
- 5) 石井多恵子, 瀬尾憲司, 田中 裕, 山崎由美子, 岡部香織, 照光 真, 前川孝治, 吉澤 薫, 染矢源治: 新潟大学歯学部附属病院中央手術室における最近12年間の全身管理症例の動向, 新潟市歯学会雑誌, 33(1), 37-43, 2003.

【商用雑誌】

- 1) 瀬尾憲司, 田中 裕, 山崎由美子, 石井多恵子, 前川孝治, 染矢源治: ミニトラックIIRによる気道確保が困難であった大理石骨病の1例, 臨床麻酔, 27(7), 1155-1157, 2003.

【科学研究費補助金】

- 1) 染矢源治: 術後の上気道障害の機能形態学および呼吸生理学的診断法の確立, 平成13-15年度科学研究費補助金, 基盤研究(C)(2), 課題番号13672083, 2003年.
- 2) 瀬尾憲司: 末梢性三叉神経損傷がおよぼす痛覚伝達機構の可塑性変化に関する研究, 平成14 - 16年度科学研究費補助金, 基盤研究(B)(2), 課題番号14370665, 2003年.
- 3) 田中 裕: 自律神経系活動解析と疼痛閾値測定試験による顎顔面口腔領域の口腔心身症診断の試み, 平成14 - 15年度科学研究費補助金, 若手研究(B), 課題番号1471124, 2003年.

【講演・シンポジウム】

- 1) 田中 裕: 当科における歯科心身医学外来の現況, PIERRE FAUCHARD ACADEMY日本部会日本海